

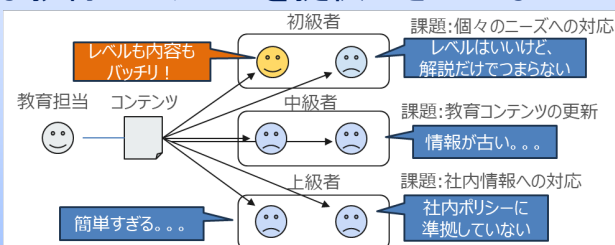
トップエスイー ソフトウェア開発実践演習

大規模言語モデルを活用した パーソナライズ教育コンテンツ生成アプリケーションの開発

清水 諒(鹿島建設株式会社) 寧銳(株式会社日立製作所)
高田 真吾(株式会社NTTデータアイ) 渡邊 千貴(株式会社リンクレア)

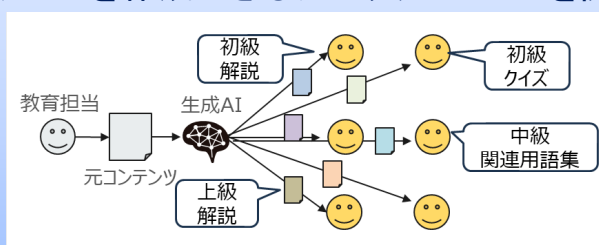
AS IS:画一的な教育

リソース不足から、以下の3つの課題を解決できず、適切な教育コンテンツを提供できていない



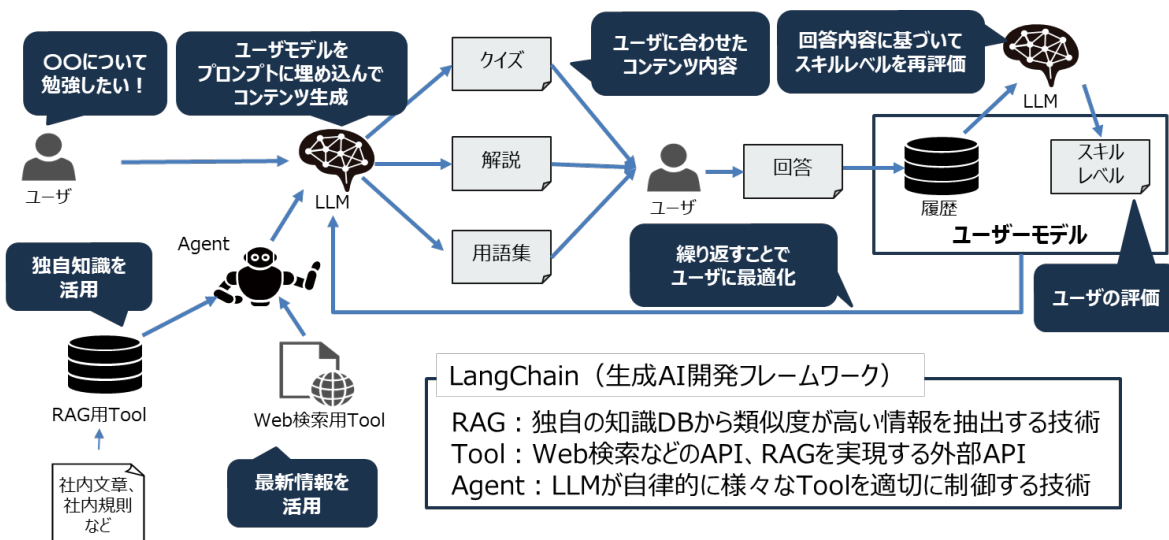
TO BE:個別に最適化された教育

生成AIを活用して少ないリソースで最適な教育コンテンツを作成できるアプリケーションを開発



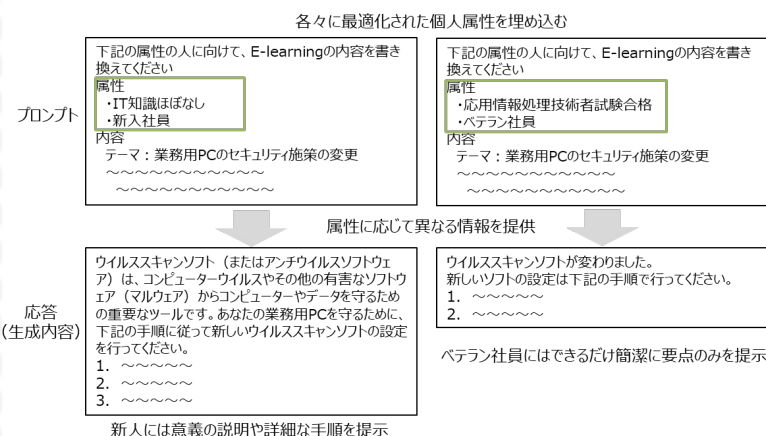
提案アプリケーションの構成

アプリケーションのアーキテクチャ



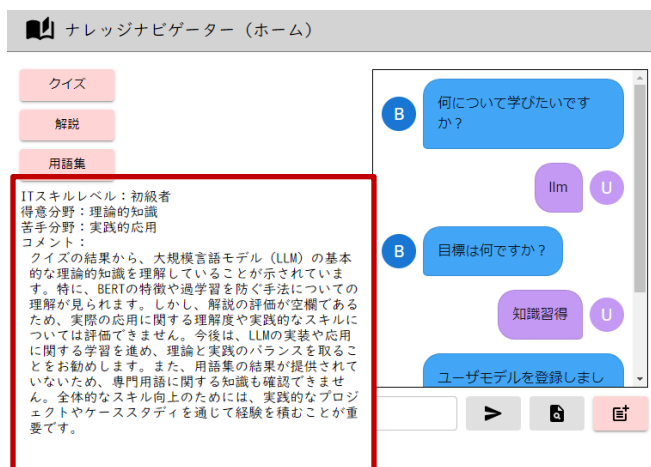
実現手段(プロンプトエンジニアリング)

生成AIへの命令文(プロンプト)にユーザモデルを埋め込んで出力をパーソナライズ

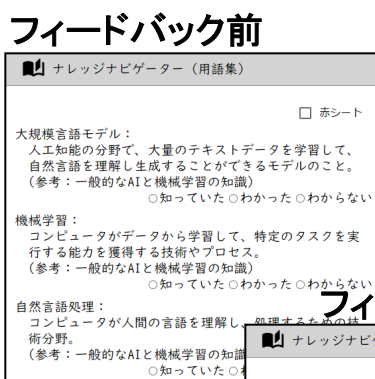


成果

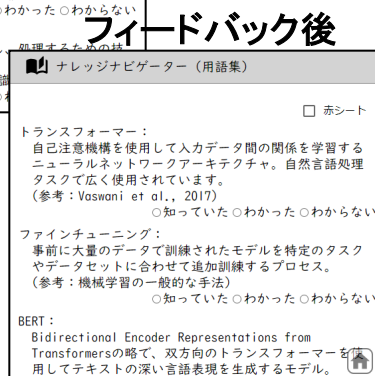
開発アプリケーションのスクリーンショット(用語集の最適化例)



ユーザモデル例



フィードバック後に
より難しい用語を生成



評価

コンテンツ生成結果から下記を確認

- ・適切なユーザモデルの生成・更新
- ・適切な難易度のコンテンツ生成
- ・最新情報を活用したコンテンツ生成
- ・社内情報を活用したコンテンツ生成

⇒実用的な教育コンテンツの
生成アプリが実現可能と結論

課題

- ・IT教育以外のテーマでの汎用性評価
- ・ユーザモデル・生成コンテンツの定量的な妥当性評価